

## こんにゃく品種「みやままさり」 に対応した球状生子植付機

### 研究のねらい

こんにゃく品種「みやままさり」は球状生子の割合が高く、生子の植え付け作業が機械化できることから普及が進んでいます。しかし、球状生子植付機は歩行用に限定され、種いも補給の問題から大規模ほ場に適応できておらず、省力化を狙った品種特性が発揮されていません。そこで、大規模経営と球状生子に対応した、効率的な乗用トラクタ装着型のこんにゃく生子植付機を開発しました。

### 技術の特徴

- 1 生子植付機は2条の歩行用球状生子植付機を基にし、乗用トラクタに装着できるように改良しました。作業はトラクタ運転手と補助作業者の2人組みで行い、2条寄畦に植付けることができます。
- 2 傾斜式生子補給箱から随時ホoppaへ生子を供給でき、植え付けを止めることなくスムーズな作業が可能です。

- 3 ホoppaに投入された生子は回転している植え付けベルトのスプーンに1個ずつすくい上げられ、案内管を通り溝切器で切った溝に落下します。
- 4 培土板および均平板により植え付けと同時に培土・畦立てができるため、作業者の疲労が少なくなります。
- 5 植付機両側に予備コンテナを搭載することで、長辺が100m区画の大規模ほ場でも往復作業が可能です。
- 6 10aあたり最速45分で植え付けから培土まで作業が可能であり、歩行用球状生子植付機と比べ延べ作業時間は約50%に短縮できます。

### 今後の取り組み

平成25年度から(株)マツモトから販売されています。今後は、デモ機の活用や研修会を開催して生産者への普及を図ります。

(執筆者：田村 晃一)

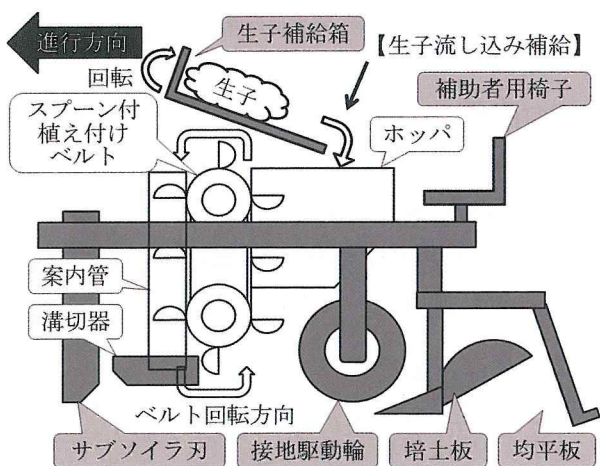


図 生子植付機の概要



写真 生子植付機